

研究分野		授業科目名				科目責任者	
形態系分野		外科腫瘍学特論Ⅱ				上野 富雄	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2		選択		2			
目的							
消化器外科関連臓器において適切な手術を実施するため、癌の発生、進展、転移の機序を理解し、その知識に基づいた癌治療について理解する。							
授業到達目標							
(1) 癌の進展、転移と諸種分子生物学的因子の関与について理解できる。 (2) 各因子の作用機序を説明できる。 (3) 各因子の作用機序を証明する実験ができる。 (4) 臨床応用を念頭においた癌制御の実験結果を想定できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	月	18:00-19:00	上野 富雄	講義	[抄読会]	抄読会・研究カンファレンス [場所:本館棟6階カンファレンス室5]
評価方法							
(1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 ※2月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁：単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
紹介論文の要約について、添削して返却する。							
教科書							
ISBN-9780323299879, Sabiston textbook of surgery : the biological basis of modern surgical practice, [edited by] Courtney M. Townsend, Jr. ...[et al.], Elsevier, 2017							
参考書							
ISBN-9784498006492, 腫瘍免疫学, 藤原大美, 中外医学社, 2003 ISBN-9784758120210, がん生物学イラストレイテッド, 渋谷正史, 湯浅保仁編集, 羊土社, 2011							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 講義ごとの文献・論文を次回講義までに読み直すこと。 (2) 外科腫瘍学に関する英語論文についてサマリーを作成する。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。							
注意事項・メッセージ							
代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。							